

生活環境

Q (立花 慶三 議員) 多死時代に備えての火葬施設利用対策は

A (民生部長) 近隣の火葬場が利用できない状況にはならない。

[Q1] これから必ず迎えることになる多死時代に、現状のままの施設では火葬場の順番待ちが予想されるが、どのように考えているのか。
[A1] 火葬場設置については、広島市、府中町、海田町、坂町、熊野町の1市4町で構成する安芸地区衛生施設管理組合の共同事務として位置づけられている。団塊の世代の高齢化という問題であるが、高齢者人口が減少に向かうこともあり、現在、組合の中では火葬場設置に関する議論はなされていない。
[Q2] 呉市の斎場でも2025年を想定して、炉の数に取り組んできているのか。
[A2] 呉市の斎場において



も将来の推計を基に建設されており、現在10基の炉を有して対応されている。
[Q3] 近い将来、いろんな推移をみながら熊野町に火葬場の建設を考えるとあるのか。
[A3] 現時点で建設に積極的な考えは持っていない。

安心安全

Q 防災力の向上を

A (町長・総務部長) 危機管理の体制強化に努める。

[Q1] 6月に本町で初めてとなる町全域への避難勧告を発令したが、発令の基準と、当日の状況判断は。
[A1] 気象警報や雨量等により発令基準を設けている。今回は、気象台から本町に土砂災害警戒情報が発表され、雨量からも災害発生の危険性が高まったため、避難勧告を発令した。今後もし「空振り」は許されても見逃しは許されない」との原則に則り危機管理に当たる。
[Q2] 雨脚が強い時は、町内放送が聞こえない。避難勧告等の伝達方法の改善が必要では。
[A2] 多様な伝達手段により周知が円滑に行えるよう、防災行政無線のデジタル化による更新を検討している。
[Q3] 豪雨の際の消防団との連携は。
[A3] 消防団による主体的な水防警戒活動の在り方について、消防団と協議し、連携を深める。
[Q4] 土砂災害防止法による基礎調査後、ハザードマップは見直すのか。また、ため池の耐震性は大丈夫か。
[A4] 避難経路を掲載した学区区ごとのマップを作成する予定である。本町の防災重点ため池15箇所については、県が、平成30年の完了を目標に、耐震調査を優先的に実施する予定と伺っている。



民法 正則 議員

公共施設整備・管理

Q 東公民館の建て替えは

A (町長・教育部長) 防災機能強化の観点からも早急に計画に着手する。



時光 良造 議員

[Q1] 東公民館の建て替えについての考えは。
[A1] 開館より37年が経過し老朽化が進んでいる。建て替えについては、利用者へのアンケートや議会の意見も参考に早急に基本計画から考えて行きたい。
[Q2] 県が、土砂災害防止法に基づき基礎調査を行っているが、警戒地域に指定されると現在の位置では難しいのではないのか。
[A2] 基礎調査の結果は建て替えにおいて、安全面で当然参考にすべきと考えている。
[Q3] 東部健康センターへ併設する考えは。
[A3] 駐車場や公園部分を削ることは難しく併設は困難と考えている。
[Q4] 建て替え場所が西に移動すると、利用者の利便性を考え、東部健康センター内に公民館機能の生涯学習の場を作ってはどうか。
[A4] 生涯学習関連事業の住民からの要望があれば支援したい。
[Q5] 建て替え時期は。
[A5] 避難所としての機能も考慮し住民の安全を第一になるべく早い時期に取り組みたい。

Q くまの・みらい交流館利用者の要望

A (町長・教育部長) 開館以来、利用者には高い評価をいただいているが、設備の一部に不備な点が見つかり順次対応している。



竹爪 憲吾 議員

[Q1] 調理室に給湯設備が必要。
[A1] 電気温水器設置工事は10月末までに完了する予定である。
[Q2] 陶芸用の窯が設置してある建物に換気設備が必要。
[A2] 建物の2カ所に開口部を設けていて、気温の高い時期は、ドアを開け扇風機等に対応してもらいたい。
[Q3] 屋外で今後計画されるイベントのための給配水設備が必要。
[A3] 飲食を伴うイベント開催時には、屋外の水道を利用し、簡易式の流し台を設置する等して対応することとしている。
[Q4] 今後の東公民館の建て替え、筆の里工房付近の開発の際、議員が設備などのチェックができる機会が必要。
[A4] 公共施設新築時など、重要な案件、決定事項は、これまでも議会の全員協議会等において、報告し、意見を伺いながら進めています。
[Q5] 敷地内に設置予定の大型遊具のそばにトイレや手洗い場は。
[A5] 手洗い水飲み場は設置するが、トイレは、交流館を利用してもらいたい。